『霊界裏話Ⅰ』

神様の因縁話

高橋久美子作成

無料配布版

ピア・スピリチュアル

目次

★日本の国土成立の霊的事情
★私が見た幽界の風景
★大本の神は韋駄天？
★天理教の霊的事情
★イスラム教の霊的事情
★記紀神話の神は今も生きている
★霊界通信のしくみ
★龍神について
★女性は生命の大元である

★宇宙はエネルギーであり、そのエネルギーを創造するのが神

★心霊的に神を考える

★どんな人間が高次の世界へ行くのか

★北海道の霊的背景

★占いの神霊・蟲神

★日本の国土成立の霊的事情★

日本に初めて住み着いたのは、龍神の大王である、天の御中主尊である。天の神で、七代続く。しかし、このときすでに、コロポックルという原住民がいたらしい。

皇紀前五百年ころ、別の一族が日本にやってくる。キンナラ族といい、国常立尊である。四夫婦八人で移住し、地の神の代表となる。さらに、キンナラは、土着の原住民三百人を配下に置き数百人の大家族となった。この時代がイザナミ、イザナギ二神の時代である。

このとき、天の御中主の分霊がイザナミに受胎して、天照やスサノオが生まれ、霊結同盟ができる。

この国常立が上陸したのが日向の高千穂で、ここを高天原という。

天照とスサノオの対立にはこんな訳がある。

国常立(韋駄天)が日本に来たときの守護神は、当時のインドの最高神であったが、国常立が強くなったので、スサノオを出して反対し、岩戸隠れとなる。後にスサノオと梵天は出雲に移動し、出雲民族となり、出雲神道を起こす。外宮はこの神族が丹波に現れたもので、雄略天皇の頃、伊勢に下り、外宮となる。

内宮と外宮しっくり来ないのは、この霊的因縁による。

天皇を、龍顔を拝すとか、逆鱗にふれるとか言うが、龍族であるという意味である。

つまり日本は龍族の国ということ。諸外国は鳥族がおおい。
鳳輩というエジプトの神、ユダヤのエホバ、キリスト教のエンゼルは翼があり、人間は神の姿に似せられて作られたと信じられている。
「世にも不思議な体験物語」参照

★私が見た幽界の風景★

極楽では無いですが、今住んでいる所の風景。
何百年か前の田舎の感じがします。民家は余りなくて、お宮が点在しています。

初夏の早朝の様な清々しさがあって草木は青々として輝いて観えます。
そのお宮は現界のお宮と通じていて重なり合っています。
お宮と私の家には細い道ができていますが、現界に在る周りの建物は全く関係無いのです。夜になるとお宮の世界も夜になって灯がともります。
たまに人の家の様に人影が観えることもあります。
同じように太陽や月にも人影が観える時もあります。
この神様の道は私の家だけでなく、町の役場や学校、病院、自治会長さんの家にも出来て
いました。皆がそれに気が付かないだけなのです。

★大本の神は韋駄天？★

神代直後に、インドの韋駄天が、キンナラ族を率いて日本に移住してきたといいます。その後、先住の天照と衝突して、出雲に追われる。そして、雄略天皇の時代に神託によって、伊勢の山田に移されたのが今の外宮である。この神が金光教や天理教に加勢し、後に大本教を起こす。もともと、異郷の神なので、本朝の皇大神に逆らうとつぶされる運命にある。大本教の弾圧はここに原因がある。

また、この神は大正十一年の関東大震災のときに現れたが、法華経を奉じたために主神を失い滅んだ。

世の立替、建て直しに主張する先人は日蓮系が多いですよね。

私の地元にも、井上日昭という日蓮宗僧侶の革命家がおられました。

★天理教の霊的事情★

天理教の主神、天理王命は、日本の土着の土蜘蛛族の先祖で、その子孫が教祖のみきさん。日本はもともと土蜘蛛の国であり、土蜘蛛の血統を統一するのが天理である。

祭神十柱は実は、日本神道以前の神の集まりで、日本土着民族と天孫族の混血がいまの日本人。しかし、天理教は国常立命、面足命、国狭槌命、月読命、雲読命、惶根命、大房辺命、帝釈天、イザナギ、イザナミを天理王命としている。

「世にも不思議な体験物語」参照

★イスラム教の霊的事情★

キリストを処刑したのはヤーベという龍神の王。
この龍神は古代からずっとキリストの神と対立していた。
キリストの没後六百年に、マホメットを出してイスラム教を起こす。
つまり、イスラム教の主神の正体はこのヤーベである。
トルコ人がユダヤ人を虐殺したのもこの因縁のため。
十字軍の戦いは、霊的には異教信仰の争い。

アラブとイスラエルの因縁を解くには、
帝釈天やヤーベよりも強大な神を世に出すことである。

★記紀神話の神は今も生きている★

日本の神話は、天皇家の権威付けであるとか、
何かの出来事のシンボルを神話にしたものとか言われているが、心霊的には違うようです。
天孫降臨も一般に言われているような戦争ではなく、ただ単純に、
先に住んでいた国津神のコノハナノサクヤヒメと新しく移住してきた
天津神のニニギノミコトが結婚したということらしいです。

だって、神界には争いは無いですし、高次の世界はとても平和で互いに謙遜するところですから。記紀神話に出てくる神々は、現在も活躍されています。ニニギノミコトも、天皇の御霊を通じて、稲作の神、護国の神として活躍しています。ただ、人間の私たちが感じることが出来ないので、神話の世界として遠ざけているのです。

ところで、日本は龍神の国です。日本に先に住んでいたのは龍神の大王である、天御中主神です。龍神の魂は人間の世界にも分霊を出しています。

龍神も夫婦があり、家族生活を営みます。

それは龍神の魂を起源としているための霊的根拠といえます。

宗教の対立や、神々の争う神話は、人間の世界に近い、幽界での出来事な

のです。

★霊界通信のしくみ★

霊界では、発声器官が無いので、お互いの意思疎通は想念によって行われます。ですから、ある人に会いたいと思えば直ちに相手に想念がとどき、相手は会いたがっている人がいると感じます。

また瞬時に移動してすぐに会うことも出来ます。

高い神霊は人間世界から隔たっているので、直接想念を送ることが難しいですが、その場合は、人霊で他界後向上し、霊格を高めた霊(指導霊)を中継して、霊能者の人間に神の想念を伝える。

この場合は、霊能者の脳の、聴覚中枢に直接想念を送るそうです。
だから、耳元でささやくような声が聞こえることがあります。
もう一つの通信法に、降霊があります。霊能者の顕在意識を消して、
その部分に霊界の霊が入り、霊能者の身体と脳を使って話をします。
そのときは霊能者の口調や手振り、態度は入っている霊そのものになります。

★龍神について★

一般的に、龍神は空想の動物で、霊界にも居ない。また、霊的生物でも、
人間が敬意をはらうものといえない自然霊の一種と考えられているようで

すが、そうではありません。龍神は人の魂の祖です。また、地球の創造に直接関わって、創造神の直接の配下にある神々です。龍神の情報をまとめると、

①記紀神話の神々は龍神。そして今現在も活きて活躍している。

②龍神は宇宙創造の神の霊威から派生する。自然界、人間界を霊的に指導、守護している。

③龍神は神界にいて、現界の肉体を持ったことがない。

それでも年齢はあって、数万歳～数百万歳あるらしい。

④龍神は夫婦を営み、子供ができる。生まれるときは妖精のようにたくさん子供が産まれる。

⑤人間の魂の祖で、人間は龍神から感性や、愛情などの人間としての豊かな心を受け継いでいる。

⑥龍神は霊体で存在するが、様様な姿になれるらしい。

★女性は生命の大元である★

男性よりも女性の方が、より根源的であるようです。でも、キリスト教では女性は男性のアダムの肋骨から生まれたことになっていますが。単細胞生物は細胞分裂によって封増すが、それはメスということです。少し進化するとメスから分化してオスが生まれてきます。霊界全体も女性原理が働いています。

男性は何かを進める力を持っていますが、それはカルマの力を利用するものです。女性はもともと生み出す力を持っているので、カルマをも操作する必要は無く、自然のも摂理の中で霊能力を発揮できます。

日本神界の天照も女神です。天御中主は中心に立つ御柱、つまり御子神。と言うことは、その神を包み込む母神があるはずです。

ニニギの尊とアマテラスの関係のように。それは地球太霊でしょう。

★宇宙はエネルギーであり、そのエネルギーを創造するのが神である★

森羅万象はエネルギーからなるという。

全ての現象、物質はエネルギーの波動に帰起するという。

しかし、そのエネルギー自体もまた作り出されたものである。
なぜなら、この宇宙に確とした秩序法則と因果律がある以上は、
それは偶然に出来たものではなく、何者かによって作られたということは
間違いの無いことである。もし、そのエネルギーが永久の昔からあったの
であれば、神とともにあったことになり、神は神界の王と言うわけではな
いことになる。
神は働きであり、創造であり、愛そのものであるから、
一切を生み、創り出すことが出来るのである。

★心霊的に神を考える★

自然は神ではない。

自然の中に神がいまし給うのである。

法則も神ではない。自然も法則も神の統括下にある。

神も無く、法則も無い真空の虚無の空間はない。

かつて存在せず、今も無い。

自然界があり、それが永続するのは神霊界があるから。

神々のあるものは全知全能であり、各々の神格に応じて役割がある。

それは天地創造の主から来たものである。

神界では、絶対神から発する神格は神真といい、

これは全知全能の神の神愛によって神界の各界に放射される。
それは現界で例えると、太陽の熱と光。
愛は太陽の熱に似ている。愛から来る真は光に似ている。
神界において神界を創る神格は愛である。
神界の光は神意である、その光は神的悟り、智恵である。
「ドクトル霊界探訪記」参照

★どんな人間が高次の世界へ行くのか★

多くの人は、天国へ行きたいと願っている。

しかしその反面、
天国に行けるような生涯を送るのは難しいと思っている人もいる。
それは、宗教的な先入観があるためだと思う。
天国に入るには、世俗の誘惑を捨てて、宗教的な人生を送り、
信奉する神仏に帰依しなければならないと教えられているからであろう。
しかし、善き信者になって宗教的な人生を過ごしても、
高次へいたるとは限らない。
宗教云々よりも、神の道にかなった生活、
正しい行いをしていれば神はそれに応じて守ってくれる。
世のため人の為と思って働くのは悪くは無いが、

人を助ければ、
回り回って自分も助けられるという狡さがあれば神霊的には意味はない。
人間は一般の社会に活き、職業を持ってその業務に精進し、
日常生活も善良なる一個人としてまっとうな人生をおくれば、
自然に心霊的心境に目覚めるのである。

★北海道の霊的背景★

私は北海道夕張郡栗山町の出身です。25まで住んでいました。
途中、札幌やオホーツク沿岸の町、興部(オコッペ)にもいました。
栗山町は始めはアイヌの四家族から始まった町です。そこに角田市からの

開拓団がやってきたそうです。アイヌと倭人の戦いは有名ですけど、北海道全域がそうだったわけじゃないです。友好的な地域もありました。北海道の冬は厳しいですから、協力していかないと生きて行けません。実家の母が小学生の時にクラスメートにアイヌの女の子がいたそうですけど、ごく普通の友達だったと言います。

当時は、街でも刺青をしたアイヌのおばさん達が買い物をしていたそうです。母の出身は北見枝幸ですが、アイヌの人が多く暮らしていたようです。祖父は、北見枝幸の風烈布(フレップ)の神社の総代を何年もしていました。稲荷神社ですが、フレップはアイヌ語で狐の意味です。実はそこはその地域のアイヌの精霊を祭っているお宮でした。

子供のころは夏休みの度にこの祖父のところに遊びにいっていました。
ごく当然の成り行きか、仕組まれていたのか、フレップ様とお近づきになりました。フレップは稲荷系の精霊です。外宮に使えています。
アイヌ以前からすでにこの北海道に赴任していて、
アイヌと倭人の争いには直接関与していないと言うのです。
戦争に関与する神霊は、人間に近づきすぎたために、
人間の穢れにまみれて、神界に帰れなくなった霊達なのです。
民族紛争や宗教戦争の因縁はこれらの霊たちが引き起こしているのです。
古代の氏族の争いや文明の起源などから霊的真理を探ろうと試みる研究者がいらっしゃいますが、歴史的事実と言うのは業の現れだから、

それを通して霊的因果関係を探ろうとしてもやはり業しか見えてこない。
シュタイナーのカルマ論と同じ。
カルマの連鎖をみるだけ。神秘的古代史論はある意味では無だなのです。
北海道の神社のほとんどは国津神系、それもアイヌの聖地とか因縁のある場所に建立しています。それは侵略的天孫降臨と同じ。
アイヌのお地場に神社を強制的にたてて、アイヌを制圧した、かのように見えますが、
アイヌの神の残党は現代によみがえって、
早くは戦前から新興宗教の神としてよみがえった。
仇の倭人の子孫を信者にして跪かせて喜んでいる。

世の建て直しって言って騒ぐけど、ふたを開けるとそういうこと。
神様も多めに観てる。そういう因縁があるから。
あまりあくどいことはしないけど、本当の神じゃないから、
そんなの信仰したら人生棒に振ってしてしまう。明治以降の信仰宗教はそんなのが多い。
歴史の波に乗り遅れた落ちこぼれの神霊が、宗教やって憂さ晴らし。
それが世の立てなおし願望の正体。
つまり、現界の歴史は怨霊と呪いが動かします。それを探っても業の迷宮に陥るだけです。

★　占いの神霊・蟲神★

占いの指導霊のようなものを、蟲神といいます。
神でもないし、人霊でもないし、精霊でもないし、
不思議な霊です。悪霊でも、善霊でもなく、占いを当らせてくれる霊です。
この霊が憑いている占い師は、よく当ります。
高橋は、高校生の頃に憑いていて、その頃は霊感少女といわれて、地元では有名でした。
今はこの蟲神は居ないので、当らない？
蟲神は、オーソドックスな、易者のような姿で現れて、
フレンドリーな感じですが、あまり人間的な感情は無いようです。

大神が作ったロボットのように思われます。深く語り合うことが出来ないので少なくとも人間の霊ではないですね。

この電子書籍は著作権によって保護されています。
無断な転用、転載、再配布は禁じます。

２０１１年３月１５日作成

霊界裏話Ⅰ

著者高橋久美子

３１２-０００３
茨城県ひたちなか市足崎１２９０-１３

０２９-２０２-０４７５

ピア・スピリチュアル

ｈｔｔｐ://７７７.ｌｉｔｔｌｅｓｔａｒ.ｊｐ/